

50歳以上の医師の定年後の 働き方に関するアンケート調査

(奈良県立医科大学医の倫理審査委員会 承認番号3716)

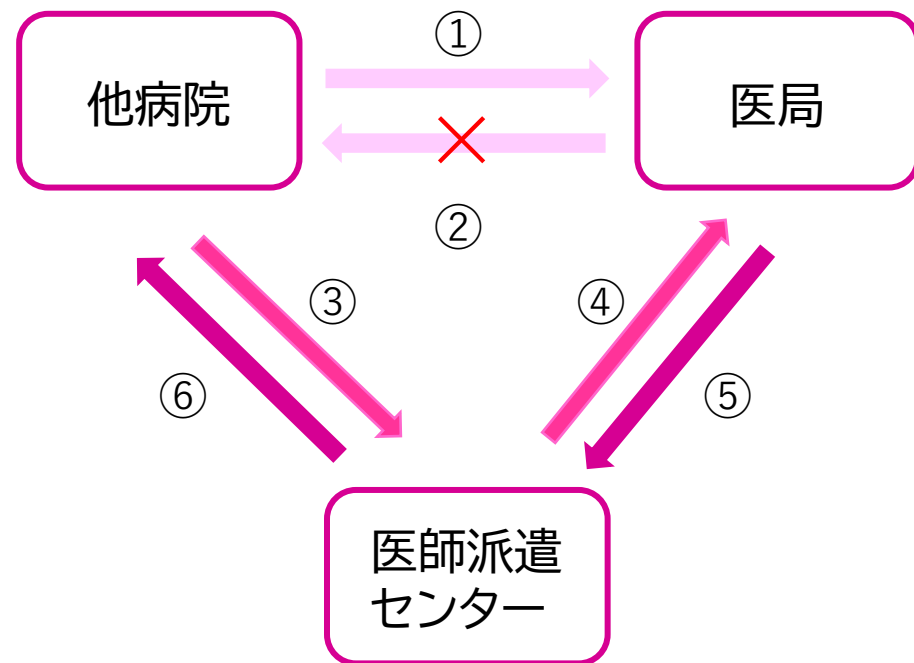
協力依頼

2024年3月病院運営協議会

2024.3.19

医師派遣センター

医師派遣調整の現状



医局に直接依頼する理由

- 昔から
- 効果的と思っている
- 派遣リソースに不安(医局の安心感)

派遣できない理由

- 少数では医療体制が組めない
- 医療の集約化

医師派遣センターの介入メリット

- 単に人が欲しい、単に派遣できない、ではない
- 双方の実情・詳細を双方に伝えることができる
- 単一の医療機関同士だけではない、様々な案を採用した、配置を検討できる

背景

- 県内公立公的医療機関16施設の院長面談では医師の人材不足を訴える所が殆どであった
- 定年後の雇用年限がない病院もあるが、現在勤務する医師の高齢化による退職後の配置要請や不安(8/16病院)
- ドクターバンクはリスク感が強く活用度は低い
- 派遣ニーズの変化:

現役と同等の役割を期待していない(ゆったりと勤務)地域に根ざした各病院の特徴に合わせ、初診を断らないジェネラル的な判断の下、院内外への適材適所との連携

動機

人材不足

医師の高齢化
その後の継続し
た配置への不安

医局定年後の医師は？

多業種は定年年
齢の引き上げ・
再雇用が進んで
いる

WinWinになる方法はあるか

勤務継続意欲と豊富
な経験・信頼性を
担保した医師派遣の
マッチング？

ニーズの変化

専門性からジェ
ネラリストへ
地域に根付く

定年後医師の働き方に関 するデータは少ない

定年後の働き方
に関する意識を
調査する

県全体の医療環境・ 医師派遣を考える

県全体のマンパ
ワー・リソースを活
用した医療体制を構
築

目的

1.各診療科に属する医師の
定年後の配置についての現
状を聴取する

2.各診療科の50歳以上の
医師の定年後の働き方に関
する意識を把握する

3.医師派遣システムとして、
定年後の医師の活用方法を
検討する

方法

- 1.各診療科の協力を得て、50歳以上の勤務医に今後の働き方に関するアンケート調査を実施する
- 2.各診療科の協力を得て、定年後の医局員の働き方(実践例)、課題の有無、意見を聴取する

調査内容

無記名 所要時間5分 〆切4月末
会議・学会で公表する可能性あり

- 性別
- 年代
- 診療科
- 定年後の就業についての希望
- 医師として勤務を希望した場合の、希望する勤務形態
- 何歳まで勤務を希望するか
- 週何日ぐらいの勤務を希望するか
- 1日何時間ぐらいの勤務を希望するか
- 役職が付かなくても良いか
- 処遇についての考え
- 定年後の勤務先を確保する手段はあるか
- 今後システムができれば利用したいか
- その他:就業しない、医師以外の勤務に就きたい、などの場合は可能な限り詳細を

協力依頼内容

1.各診療科の協力を得て、50歳以上の勤務医に今後の働き方に関するアンケート調査を実施する

⇒秘書にメール依頼文と調査協力依頼文書(調査QRコード掲載)を送付したものを、対象者(50歳以上の医局員)に送って頂きたい

2.各診療科の協力を得て、定年後の医局員の働き方(実践例)、課題の有無、意見を聴取する

⇒各診療科部長にヒアリングの時間を頂きたい(15分程度)

意義

- 1.大学診療科に属する50歳以上の医師の定年後の働き方に関する考え方がわかる
- 2.定年後も勤務意欲がある場合、勤務を継続できるニーズを把握することにより、医師の労働力確保を検討する資料になる
- 3.さらに県内医療機関の医師不足、医師偏在の対策として、各医療機関とのマッチングシステムを構築する材料になり得る

アカウントログイン不要、メールアドレスを収集しない設定で行っており、個人は特定されません。

何よりもデータがありません。

今後の奈良県の医療体制構築のための貴重な意見となりますことをご理解いただきたく存じます。

調査協力のほど、よろしくお願い致します。